

道連ニュース

2015年新春号 No.102

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

新年ご挨拶

会長理事 麻田信二



新年、明けましておめでとうございます。2015年を迎え、生協会員の皆様にとりまして、この一年が幸多き年になりますことを心からご祈念申し上げます。昨年暮れには突然の解散総選挙がありましたが、日本の行く末に大きな不安を感じさせられる結果になりました。

直接民主政治を主張したフランスの思想家ジャン・ジャック・ルソーは、国民は投票するときは自由だが、その後は、政治家の奴隷になると言っています。安倍首相がもくろんだ通りこの回の投票率は低く、絶対得票24%で75%の議席を自由民主党は得て、安倍首相のやりたい放題となったのです。これは、国民の4人のうち3人もの意志が反映されないことであり、国民主権をうたった憲法に違反するものではないでしょうか。

同志社大学大学院の浜矩子教授は、日本生活クラブ協同組合の月刊誌「生活と自治」2014年12月号で、アベノミックスを時代錯誤のアホノミックスと痛烈に批判していますが、国民不在のアベノミックス政治が

続けられることになったが今回の選挙結果です。

経済政策の他にも、集団的自衛権や秘密保護法など、重大な問題

がありますが、中でも原発問題は、北海道の生命線である「食と観光」に重大な影響を与えます。北海道で原発が稼働し続けるとしたなら、道民は常に不安の中で生活しなければなりませんし、「食と観光」の真の発展もなく、北海道は人口減少の中で、衰退の一途をたどることは目に見えています。脱原発の運動を強めていかなければならないし、TPP（環太平洋経済連携協定）の問題も極めて重要です。

この春には、統一地方選挙があります。北電泊3号機原発の再稼働問題などの判断に大きな影響力を持つ北海道知事を選ぶ大切な年です。生協運動に結集し共に力を合わせて平和で住み良い北海道を築いて行けるよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

～ 第3回福祉PJ開催報告 ～

11月13日、全労済会館会議室に於いて第3回福祉PJが開催されましたのでご報告致します。

当日の参加は、相内座長を始めメンバー17人とゲスト講師3人計20人の参加があり、今回よりコープさっぽろ平部長の参加がありました。

内容としては、ゲスト講師としてNPO 夢コープの深井理事長・杉井副理事長、日本医療福祉生活協同組合連合会藤井課長をお招きし、お話を頂きました。夢コープさんからは「くらし助け合い活動と介護保険事業」を結び付けた活動を静岡県全域で展開し、ヘルパー会員584名で年間活動時間約17万時間、事業高約6.2億円の活動を展開し黒字経営を続けている貴重な教訓をお話いただきました。深井理事長のお話で印象深かったことは、①NPO事業として、長年実績をつ

り続けている事②諸団体とのネットワーク構築を成功させている事③NPOメンバーの処遇も高水準にある事④事業成功のカギは、コーディネーターの人材確保とスキルアップの維持にある事でした。

また、医療福祉連合会からは全国様々な取り組み紹介を頂きました。そのお話は、購買生協の福祉事業に比べ、ベースとして医療事業があり、利用者のニーズに応えた様々な取り組みが全国で行われている事が解り有意義なお話となりました。

最後に、次回の日程1月20日(火)と次回テーマ①WEB調査分析と福祉事業の課題②福祉人材の発掘・育成・キャリアUP研修の課題とアクションプログラム(ほくろう)を確認してPJを終了しました。

～第5回消費者フォーラム開催報告～

12月8日、北海道建設会館9階大ホールに於いて、第5回消費者フォーラムが開催されましたので報告致します。

今年の開催テーマは、「地域で安心して住み続けるために」～私たちのできること～でしたが、実行委員会には、道庁・札幌市をはじめ消費者団体・NPO、弁護士会、司法書士会など14団体が参画（生協陣営からは、コープさっぽろ・道連が参画）当日は、全道から90名の参加がありました。

企画内容は、午前に基調報告「消費者市民社会の構築への消費者庁の取り組み」板東消費者庁長官と取り組みリレー報告9団体（今年は生協Gより①コープさっぽろより「子育て応援プログラム絵本がトドック」

②北大生協より「学生相談窓口から見た消費者被害」の報告をしました。

午後一番で、コープさっぽろトドックダンスと旭川消費者協会劇団「風」による寸劇、振り込め詐欺「おばあちゃん、助けて」のお披露目があり、その後参加者全員参加による、ワールドカフェ方式による経験交流会がありました。出された各組織が困っている事は①人材育成・後継者作り②情報の共有化③活動資金づくりでした。

フォーラムは10時スタート4時終了の盛りだくさんの企画内容でしたが、参加者の熱心な参画で充実した一日となりました。

北海道クリーン農業推進協議会報告

12月11日「北海道クリーン農業推進協議会」第2回幹事会が開催されました。主な議題は、北海道クリーン農業推進計画案（第6期）について検討されました。クリーン農業とは、「堆肥等の有機物の施用などによる土づくりに努め、化学肥料や化学合成農薬の使用を最小限にとどめるなど、農業の自然循環機能を維持、増進させ、環境との調和に配慮した安心、安全、品質の高い農産物の安定生産を進める農業」のことで、イエスクリーン農産物の生産面積は15625ha（平成24年）で全作付面積4.1%の比率です。又、イエス

クリーン農産物についての消費者認知度も13%と低い状況です。

（お知らせ）

3月12日「北海道クリーン農業セミナー」が開催され、藻谷浩介（日本総合研究所、著作～里山資本主義）テーマ「100年続く北海道農業をめざして」の基調講演が行われます。

参加申し込み用紙とポスターを各生協にお送りします。

お知らせ 第4回理事会・学習会・拡大新年会のご案内

1. 第4回理事会

日時 1月22日(木)14:00～

場所 KKRホテル札幌2階「はまなす」
札幌市中央区北4条西5丁目
(011-231-6711)

2. 学習会

日時 1月22日(木)15:45～

場所 KKRホテル札幌2階「はまなす」
テーマ 「生協法と生協活動」

3. 拡大新年会

日時 1月22日(木)17:30～

場所 KKRホテル札幌3階「エルム」